

崇城大空港キャンパスに到着した新訓練機の乗り心地を確かめる
学生たち＝菊陽町



新機体が到着 訓練頑張るぞ

菊陽町の崇城大

崇城大工学部宇宙航空システム工学科の新訓練機が17日、菊陽町の空港キャンパスに到着し、パイロットを目指す学生ら40人は小旗を振って「相棒」を出迎えた。

訓練機は双発の6人乗りプロペラ機で、約2億5千万円で新調。旧機になかった自動操縦機能を搭載し、学べる操縦技術が増え

る。熊本地震からの復興を願い、機体には「がまだせ熊本」と書いた。

同日はセレモニーがあり、熊本空港の消防車が放水して到着を祝った。同キャンパスは熊本地震で講義棟などが被災し、5月中旬まで訓練を中止。ピカピカの新訓練機を前に、同科航空操縦学専攻の福田大輝さん(20)は「地震後は不安な時期もあったが、気持ちを新たに訓練を頑張りたい」と笑顔を見せた。

(園田琢磨)